

# 北部保健所(中津地区)の感染症情報



令和2年 第38週 (9月14日～9月20日)

## ～新型コロナウイルス感染症とは～

発熱やのどの痛み、咳が長引くこと(1週間前後)が多く、強いだるさ(倦怠感)を訴える方が多いことが特徴です。

県内での感染症患者は158例目の発生となっています。(R2.9.23現在)

特に高齢の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性が考えられます。

新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染により感染します。空気感染は起きていないと考えられていますが、閉鎖した空間・近距離での多人数の会話等には注意が必要です。

詳細は大分県のホームページ等でご確認下さい。

### ○一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 1 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
- 2 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 3 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 4 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 5 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。(手指消毒薬の使用も可)



## ○ヘルパンギーナは横ばいです。(3.33人/定点あたり)

コックサッキーウイルス等により口の中に特有の小水疱と発熱を主症状とする夏かぜの一種です。

突然38～40℃の発熱が1～3日続き、咽頭痛・嘔吐などがある場合があります。

喉の炎症などの主症状と同時に髄膜炎を併発することもありますので注意が必要です。

【感染経路】経口感染・接触感染

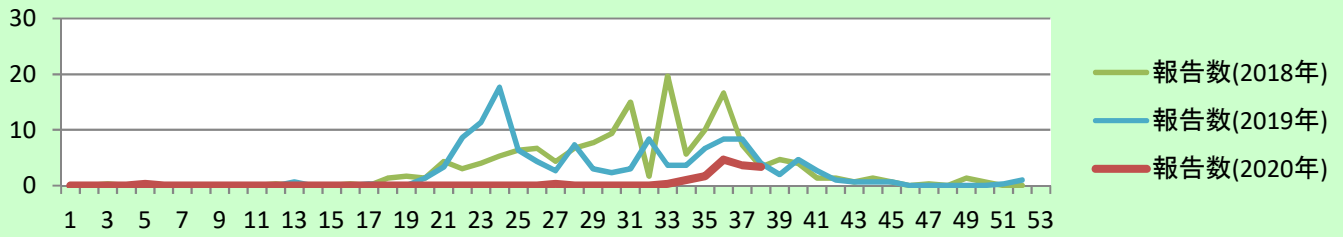
【治療】症状に応じた対症療法を行います。口腔内の痛みなどのため、食事や水分が十分に取れないことがありますので、水分補給を心がけて脱水症状にならないように注意が必要です。

	インフルエンザ			RSウイルス	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(水ぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	肺炎マイコプラズマ	麻疹(全数)
	A型	B型	不明												
0歳							0.33				0.67	0.33			
1～3歳						0.33	0.67		0.33		0.33	2.67			
4～6歳						0.33	0.67					0.33			
7～9歳							0.33						0.33		
10～14歳							0.33								
15～19歳															
20歳以上															
計						0.67	2.33		0.33		1.00	3.33	0.33		
70歳以上(再掲)															
前週							3.33	0.33			0.33	3.67	0.33		

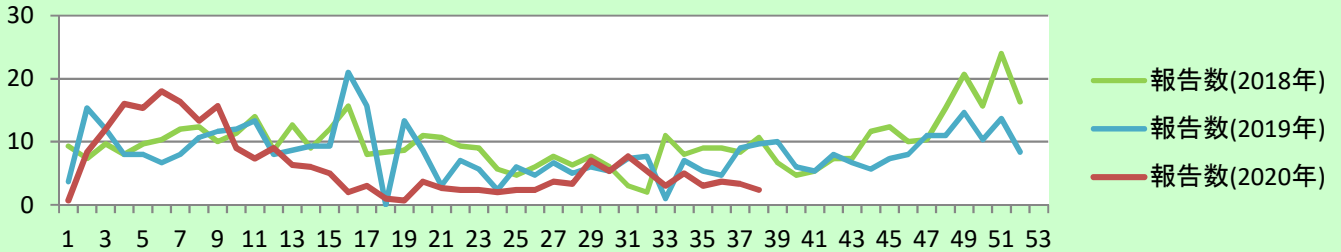
※指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上(定点医療機関 インフルエンザ定点5、小児科3)

※端数処理のため、合計と年齢ごとの数値は一致しないことがある。

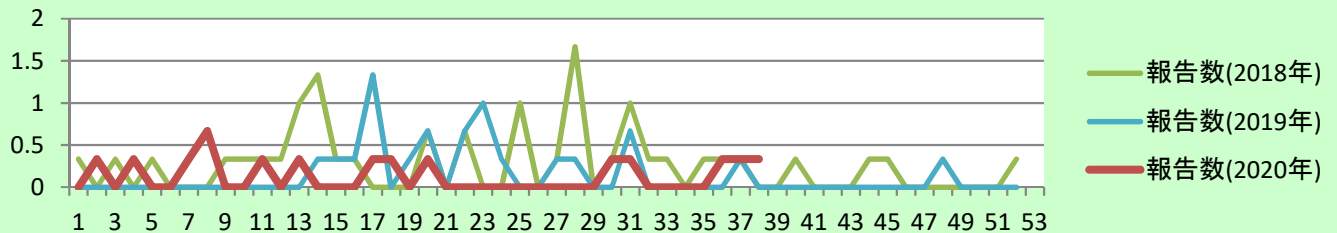
## 定点当たり報告数 ヘルパンギーナ



## 定点当たり報告数 感染性胃腸炎



## 定点当たり報告数 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)



疾患ごとの警報・注意報の基準値は以下のとおりです。

症状	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

- ・「警報」: 大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを指す。
- ・「注意報」: 流行の発生前だと、今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと指し、流行の発生後だと流行が継続していることが疑われることを指す。

お問い合わせ 北部保健所 0979-22-2210